

1. 製品及び会社概要

製品名： エアークッター オイル
会社名： 株式会社 松風
住所： 京都市東山区福稲上高松町 1 1
担当部門： 技術部品質保証課
担当者： 品質保証課長
電話番号： 075-561-1112
FAX 番号： 075-275-4795
E-Mail： webmaster@shofu.co.jp
推奨用途： 歯科材料

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分に該当しない

健康有害性

急性毒性（経口） 区分に該当しない

急性毒性（経皮） 区分に該当しない

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） 区分 4

皮膚腐食性及び刺激性 区分 3

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 区分 2B

生殖細胞変異原性 区分 2

発がん性 区分に該当しない

特定標的臓器毒性（単回暴露） 区分 2（肺）

特定標的臓器毒性（反復暴露） 区分 1（肺）

吸引性呼吸器有害性 区分に該当しない

GHS ラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害情報

吸入すると有害

皮膚刺激

眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

臓器の障害のおそれ（肺）

長期にわたる又は反復暴露による臓器の障害（肺）

注意書き

[安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

容器を密封し、取扱い時にはこぼれないように注意すること。

熱、火花、高温体等の着火源から遠ざけること。禁煙。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

[応急措置]

火災の場合：消火には粉末、泡又は炭酸ガス消火器を使用すること。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服を再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断/手当てを受けること。

暴露あるいは暴露の懸念がある、又は気分が悪い場合：医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

[保管]

密閉して、火気を避けた室内冷暗所に保管すること。

[廃棄]

内容を明確にして公認の産業廃棄物処理業者に委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

国・地域情報

国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別

混合物

3.2 成分及び含有量

成分名	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)	含有量(重量%)
潤滑油基油	—	—	> 99
潤滑油添加剤	—	—	< 1
水	—	—	
その他	—	—	

4. 応急措置

4.1 眼に入った場合

清浄な水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、最低 15 分間洗浄した後、医師の手当を受ける。

4.2 皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼水で洗う。汚染された衣服を再使用する場合には洗濯する。

4.3 吸入した場合

新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。

呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類をゆるめ、呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

4.4 飲み込んだ場合

無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で充分洗う。

4.5 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

4.6 応急措置をする者の保護に必要な注意事項

情報なし

4.7 医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

5.1 適切な消火剤

霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡、砂

5.2 使ってはならない消火剤

棒状水

5.3 火災時の特有の危険有害性

情報なし

5.4 特有の消火方法

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は適切な消火剤等を用いて風上から行う。

5.5 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。高温の金属表面等に接触したり、漏出した場合、発生した蒸気によって燃焼や爆発が起きる可能性がある。燃焼の際は、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

屋内で漏洩した場合は、窓、ドアを開けて十分に換気を行う。

6.2 環境に対する注意事項

河川、水路や下水に流れ込まないように注意すること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸着させて、密閉できる空容器に回収する。

6.4 二次災害の防止

着火源を取り除くと共に換気を行う。

7. 取り扱い及び保管上の注意

7.1 取り扱い

皮膚、目との接触、蒸気の吸入等を避けるために、適切な保護眼鏡等の保護具を使用すること。引火性があるため、火気厳禁で取り扱うこと。室内で取り扱う場合は、局所排気装置等で換気を充分行うこと。高温物、スパーク、火気、強酸化剤との接触を避けること。

7.2 保管

密閉して、火気を避けて室内冷暗所で保管すること。ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、過酸性物質との接触並びに同一場所に保管しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

設定されていない。

8.2 許容濃度

ACGIH (2006年版)	TLV-TWA	5 mg/m ³ (鉱油ミストとして)
	TLV-STEL	10 mg/m ³ (鉱油ミストとして)

8.3 設備対策

局所排気装置、安全シャワー、手洗い・洗顔設備、洗眼器等

8.4 保護具

呼吸用保護具: 有機ガス用マスク

手の保護具: 保護手袋 (ゴム)

眼の保護具: 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具: 保護前掛け (ゴム)、保護長靴 (ゴム)

8.5 特別な注意事項

情報なし

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色等):	淡黄色液体
臭い:	油臭あり
pH:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	240 °C
燃焼性 (固体、気体):	データなし
爆発範囲の上限・下限:	データなし
蒸気圧:	データなし
比重又は嵩比重:	0.844 (15 °C)
溶解度 (水):	不溶
η-オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	200-410 °C (参考値)
分解温度:	データなし
粘度 (動粘性率):	データなし
蒸気圧:	データなし
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし
その他のデータ:	なし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と反応する。



- 10.2 化学的安定性
通常条件下では安定。
- 10.3 危険有害反応可能性
情報なし
- 10.4 避けるべき条件
直射日光、高温
- 10.5 混触危険物質
強酸化剤
- 10.6 危険有害な分解生成物
一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害情報

11.1 急性毒性	吸入すると有害
	経口 ラット LD50 > 5000 mg/kg
	経皮 ラット LD50 > 5000 mg/kg
	吸入（ミスト） ラット LD50 2.18 mg/L
11.2 皮膚腐食性及び刺激性	皮膚刺激
11.3 眼に対する重篤な損傷又は刺激性	眼刺激
11.4 呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
11.5 生殖細胞変異原性	遺伝子疾患のおそれの疑い
11.6 発がん性	データなし
11.7 生殖毒性	データなし
11.8 特定標的臓器毒性（単回ばく露）	臓器の障害のおそれ（肺）
11.9 特性標的臓器毒性（反復ばく露）	長期にわたる又は反復暴露による臓器の障害（肺）
11.10 誤えん有害性	データなし

12. 環境影響性

- 12.1 生態毒性
データなし
- 12.2 残留性・分解性
データなし
- 12.3 生態蓄積性
データなし
- 12.4 土壌中の移動性
データなし
- 12.5 オゾン層への有害性
データなし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として処理に関する法律、規則、条令に則り廃棄する。廃棄する場合は、内容を明確にして産業廃棄物処理業者に委託する。



14. 輸送上の注意

14.1 注意事項

輸送の際は、容器漏れの無いことを確かめ、荷崩れのないような処置を講ずること。
引火性の液体なので「火気厳禁」。

14.2 国連番号・国連分類

非該当

15. 適用法令

15.1 消防法

第四類第四石油類（非水溶性）

15.2 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）

名称等を通知すべき危険物及び有害物

（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）（政令番号 第168号）

15.3 化学物質排出把握管理促進法

該当物質なし

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

*）本製品は、歯科用として設計しておりますので、他の用途のご利用の場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、性能についても事前にご確認の上でご利用ください。